

ビソノテープ 2mg
ビソノテープ 4mg
ビソノテープ 8mg

【この薬は？】

販売名	ビソノテープ2mg Bisono Tapes 2mg	ビソノテープ4mg Bisono Tapes 4mg	ビソノテープ8mg Bisono Tapes 8mg
一般名	ビソプロロール B i s o p r o l o l		
含有量 (1枚中)	2 m g	4 m g	8 m g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、β遮断剤と呼ばれる薬です。
- ・ この薬は、心臓の過剰な働きをゆるやかにすることにより、血圧を下げたり、心拍数を下げたりします。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

[ビソノテープ 2mg]

- ・ 頻脈性心房細動

[ビソノテープ 4mg、8mg]

- ・ 本態性高血圧症（軽症～中等症）

- ・ 頻脈性心房細動

- ・ この薬は、体調がよくなったと、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・高度の徐脈（著しい洞性徐脈）、房室ブロック（Ⅱ度、Ⅲ度）、洞房ブロック、洞不全症候群の人
- ・糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスの人
- ・心原性ショックの人
- ・肺高血圧による右心不全の人
- ・強心薬または血管拡張薬を静脈に注射する必要がある心不全の人
- ・非代償性の心不全の人
- ・重い末梢循環障害のある人（壊疽など）
- ・治療していない褐色細胞腫またはパラガングリオーマの人
- ・過去にビソノテープに含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・気管支喘息、気管支けいれんのおそれがある人
- ・心不全の人
- ・うっ血性心不全のおそれがある人
- ・特発性低血糖症の人、コントロール不十分な糖尿病の人、長期間絶食状態の人
- ・甲状腺中毒症の人
- ・末梢循環障害のある人（レイノー症候群、間欠性跛行症（かんけつせいはこうしょう）など）
- ・徐脈、房室ブロック（Ⅰ度）の人
- ・過度に血圧の低い人
- ・異型狭心症の人
- ・乾癬の人や過去に乾癬を経験したことがある人
- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマの人
- ・腎臓に障害がある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの年齢や症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の使う量および回数は、次のとおりです。

[本態性高血圧症（軽症～中等症）]

1回量	8 mg なお、年齢、症状により1日4 mgから開始されます。
貼る回数	1日1回 毎日ほぼ同じ時間に（24時間毎に）貼り替えます。

- ・1日最大使用量は8 mgです。

[頻脈性心房細動]

1回量	4 mgから開始され、効果が不十分な場合は、8 mgまで増量されます。
貼る回数	1日1回 毎日ほぼ同じ時間に（24時間毎に）貼り替えます。

- ・1日最大使用量は8 mgです。

●どのように使用するか？

[貼る時の注意点]

- ・胸部、上腕部、背部のいずれかに貼ってください。
- ・傷や湿疹がある場所や、汗をかきやすい場所には貼らないでください。
- ・入浴後に貼る場合には、水分を十分に拭き取ってから貼ってください。
- ・薬が一部はがれてしまった場合には、ばんそうこうなどではがれ落ちないように固定してください。

[貼り方]

- ・この薬を貼り替える時は、前日に貼った薬をはがしてから、新しい薬を貼ってください。
- ・貼り替える場所は、前回の場所を避けてください。



●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れや貼り替えていないことに気付いた場合でも、一度に2回分を貼らないでください。気付いた時にすぐに貼り替えて、次回からはいつもと同じ時間に貼ってください。ただし、次に貼り替える時間が近い時は1回とばして、次回いつもと同じ時間に貼り替えてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

徐脈（めまい、脈がとぶ）、完全房室ブロック（気を失う、脈が遅くなる）、心不全（息切れ、むくみ）、低血圧（脱力感、立ちくらみ）、気管支けいれん（息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする）などがあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を長い間使用する場合は、心機能検査（脈拍、血圧、心電図、X線など）が定期的に行われます。
- ・狭心症の人で、この薬と類似の薬を急に中止したとき、症状が悪化したり、心筋梗塞があらわれたとの報告があります。この薬でも同じような症状があらわれる可能性があるため、使用を中止する際には徐々に減量します。医師の指示なし

に使用を中止しないでください。高齢の人においても同様の注意が必要です。

- ・甲状腺中毒症の人は、この薬を急に中止すると、症状が悪化することがあるので、使用を中止する際には徐々に減量します。医師の指示なしに使用を中止しないでください。
- ・手術の48時間前から使用を中止することが望ましいので、手術を受ける場合は、この薬を使用していることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・めまい、ふらつきがあらわれる（特に使用し始め）ことがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・心不全の人にこの薬を使用する場合は、心不全の症状が悪化する可能性があるので、心機能検査が行われます。
- ・皮膚症状があらわれることがあるので、毎回貼る場所を変えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
完全房室ブロック かんぜんぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
高度徐脈 こうどじょみやく	めまい、意識の低下、意識の消失、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う
洞不全症候群 どうふぜんしょうこうぐん	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、むくみ、体重の増加
頭部	めまい、気を失う、立ちくらみ、意識の低下、意識の消失
胸部	息苦しい、息切れ
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ

【この薬の形は？】

販売名	アルミ袋	支持体側	ライナー側
-----	------	------	-------

ビソノテープ 2mg			
ビソノテープ 4mg			
ビソノテープ 8mg			

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ビソノテープ 2mg	ビソノテープ 4mg	ビソノテープ 8mg
有効成分	ビソプロロール		
添加剤	アクリル酸 2-エチルヘキシル・1-ビニル-2-ピロリドン・N- (2-ヒドロキシエチル) アクリルアミド共重合体溶液、メタクリル酸ブチル・メタクリル酸メチルコポリマー、ミリスチン酸イソプロピル		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・はがしたテープは、まだ薬の成分が残っているので接着面を内側にして半分に折り込んでください。
- ・必ず、子供の手や目の届かないところに廃棄してください。
- ・テープを取り扱った後は、石けんを使って手を洗ってください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：トーアエイヨー株式会社 (<https://www.toaeiyo.co.jp/>)

信頼性保証部

電話番号：0120-387-999

受付時間：9時00分～17時00分

(土、日、祝日、弊社の休業日を除く)